

《令和7年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

令和8年3月末 現在

施設名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容 (計画)
緩和ケアセンター	1. 症状緩和における現場のスキルアップを図る	・オピオイドの持続皮下注射や終末期鎮静に関するマニュアルは既にあるが、院内で浸透しておらず、現場の医療者が必要な時に活用できていない	・「睡眠薬」「オピオイドの持続皮下注射」「終末期鎮静」に関する学習会を企画する ・学習会における理解度を終了時にアンケートで確認する ・学習会後の現場の変化についてチームメンバーで意見交換すると共にリンクナースからも意見を集める	令和8年2月	△	一部達成	・睡眠薬：基本的な院内推奨指示薬の使用方法のミニレクチャーを行う ・オピオイド持続皮下注射：病棟ごとに使用頻度や熟練度が異なるため、病棟ごとに講義内容の要望を聴取し、ミニレクチャーを1月末から2月に実施予定 ・終末期鎮静：繰り返し視聴できるようにe-learningで3月に講義予定	継続	・せん妄、睡眠薬：院内推奨指示の統一ができていないため、指示内容の見直し、パスや各科指示セットの見直しを行った上で、新入職員＋既存の職員に向けての学習会 ・麻薬使用・減量に関する学習会 ・電子加算の緩和に関する勉強会資料を刷新
	2. 連携体制を作っていくために、介護施設における緩和ケアや看取りの現状を明らかにする	近隣の介護施設における緩和ケアや看取りの現状がわからないため、高齢がん患者の地域連携に難渋することがある	・昨年度リストアップした近隣の介護施設に対して緩和ケアや看取りの状況に関するアンケートを実施し、現状を把握する	令和8年3月	△	一部達成	近隣の介護施設に看取りに関する問題をヒアリングした。ヒアリング内容を中心に講義とグループワークを行った。終了アンケートでは良い評価を得た。	継続	近隣の介護施設に看取りや緩和ケアの問題をアンケートやヒアリングで抽出し、ニーズに応じて学習会など支援を行う
	3. 病棟薬剤師と緩和ケアチームの薬剤師が連携することで、入院患者の疼痛軽減および薬剤適正使用を図ることができる	・入院中に疼痛コントロールができないまま退院し、外来に移行している患者がいる ・ハロペリドール注・リスベリドン使用による錐体外路症状等の副作用症状出現がある	・錐体外路症状出現や疼痛コントロール不良を含め症状緩和が困難な患者に対し、病棟薬剤師と情報共有し、必要時薬剤の提案を主治医に行う ・経過を確認し症状緩和が難しい場合はPCTの介入を検討する	令和8年3月	△	概ね達成	・緩和ケアチームとして、ハロペリドール注などD2受容体遮断薬の使用の確認や減量提案を継続して実施している ・症状緩和について病棟薬剤師と情報共有を行い、連携はできている。病棟薬剤師から緩和ケアチーム薬剤師へ相談しており、症状緩和が必要な患者についてPCTラウンドに提案し、適切な介入につなげている	継続	・ラウンドで抽出しきれない患者を把握するため、薬剤部内で薬剤部作成資料（薬剤部ニュース）を用いて「薬剤性錐体外路障害」について再度周知し、病棟薬剤師が早期発見に気づきやすい体制を強化する。 ・症状緩和が困難な患者に対し必要時薬剤の提案を行い、病棟薬剤師と共に情報共有する。 ・経過を確認し症状緩和が難しい場合はPCTカンファレンスに挙げ、介入方法を多職種で検討する
	4. 希死念慮のある患者への介入を通じ、防げる自殺を防ぐ	医師、看護師、看護補助者など研修受講者各々が自身に期待される役割を実践し、患者の苦痛に気づき、声をかけ、適切な相談先につなぐ体制を定着させる必要がある	全職員に対し、safety plusの「命をつなぐ他職種連携講座～「死にたい気持ち」の理解と対応を学ぶ～の聴講についてアナウンスする ・新規採用者などの研修未受講者に対し、研修を企画し実施する ・希死念慮のある患者に対する関わりだけでなく、家族への接し方について研修を検討する ・看護師が希死念慮のある患者と関わったときどんな困難感があったか、また関わるとしたらどんな困難が考えられるかをリンクナースに確認し、フォローアップ研修に繋げる ・頻回の電話相談、受診をする患者はサポートケア介入しているため、身体症状が落ち着いた時点で希死念慮の有無の確認を継続的に行う	令和7年3月	△	一部達成	2021年から2022年に行ったゲートキーパー研修について質的検討を行っている。インタビュー調査内で看護師が希死念慮を抱える患者について関わる困難感や上記研修の不足点を聴取している最中である。看護師のニーズに即した研修内容を検討中である。	継続	ゲートキーパー研修を看護師のニーズに即して改訂し、実施予定。

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。